

令和3年度 校内研究

1 研究教科・領域

外国語・外国語活動

2 研究主題、研究の視点（令和2年度）

伝え合う楽しさを味わい、進んでコミュニケーションを図る児童の育成

～外国語活動等において、自分の考えや気持ちを伝え合う活動を通して～

* 令和2年度の視点

視点1	授業の基本的な流れの確立
視点2	ねらいに沿ったコミュニケーション活動の工夫

◎令和3年度については、第1回目の校内研究全体会で決定する。

3 研究の目標（前年度実施内容）

外国語・外国語活動の時間において、児童のやってみたいと言う気持ちを高められる課題を設定することで、進んでコミュニケーションを図る児童を育成する。

4 研究の内容・方法

[校内研修の中で]

- 低中高学年部に分かれて、研究授業の参観や事後検討会を行う。（令和3年度は授業づくり訪問有り。）
- 研究授業を行った後は、参観した先生方でミニ検討会を行う。
- 校長、教頭、教務、研究主任は、可能な限り学年授業・研究授業に参加する。
- 特別支援教育の研修として、個別学習室の授業参観も行う。
- 研究の視点を基にした授業研究の計画、実践、学年研究のまとめ等を行う。

5 その他

- 研究の母体を学年におき、必要に応じてグループや研究推進委員会が授業づくりなどに協力する。
- 全学級が授業を行う。
- 年度末に学年ごとに研究のまとめを作成する。